

熊本県 健康福祉部 御中

厚生労働省老健局介護保険計画課

平成 28 年熊本地震で被災した被保険者の利用料等の取扱いについて

「平成 28 年熊本地震による被災者に係る利用料等の介護サービス事業所等における取扱いについて（その 2）」（平成 28 年 7 月 22 日付け厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室ほか事務連絡。以下「事務連絡」という。（別添））により、介護サービスに係る利用料の支払いが困難な者の取扱いが示されたところですが、市町村における利用料の取扱いについては下記のとおりですので、特段のお取り計らいをお願いするとともに、貴管内市町村に対する周知等よろしくお願いいたします。

記

- 1 事務連絡に基づき、介護サービス事業所等において利用料の支払いを猶予され、費用の 10 割を審査支払機関へ請求された介護給付費請求書に係る利用料については、被保険者からの申請を待つことなく市町村の判断により、免除することができることとすること。
- 2 1 に基づく利用料の免除については、市町村への特別調整交付金による財政支援を行う予定であること。
- 3 なお、介護保険施設等における食費・居住費の自己負担分の取扱いについては、現行どおりであること。
- 4 平成 28 年 10 月 1 日以降については、介護サービスの係る利用料の支払猶予の取扱いは終了する予定であるので、1 に基づく利用料の免除対象者（以下「免除対象被保険者」という。）は、介護サービス事業者から介護サービスを受ける際に、様式第 1 による利用料免除証明書を被保険者証に添えて当該介護サービス事業者に提示しなければならないこと。
なお、免除対象被保険者は、あらかじめ市町村に対して申請を行い、免除証明書の交付を受けるものとする。こと。（市町村自ら罹災証明書等を交付しているため被災事実を把握している等の場合は、市町村の判断により、添付書類等を省略する等の柔軟な取扱いを行っても差し支えないこと。）
- 5 4 に基づく利用料の免除措置は、免除対象被保険者が平成 29 年 2 月 28 日までの間に受けた介護サービスについて適用するものとする。こと。

別添

事務連絡
平成28年7月22日

各 都道府県介護保険担当主管部（局） 御中

厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室
介護保険計画課
高齢者支援課
振興課
老人保健課

平成28年熊本地震による被災者に係る利用料等の
介護サービス事業所等における取扱いについて（その2）

平成28年熊本地震による災害発生に関し、介護サービスに係る利用料の支払いが困難な者の取扱いについて、下記のとおりとしますので、管内市町村、介護サービス事業所等に周知を図るようよろしくお願いします。

記

1に掲げる者については、指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準（平成11年厚生省令第37号）第20条第1項、第48条第1項、第66条第1項、第78条第1項、第87条第1項、第96条第1項（第119条において準用する場合を含む。）、第127条第1項、第140条の6第1項、第145条第1項、第155条の5第1項、第182条第1項（第192条の12において準用する場合を含む。）、第197条第1項及び第212条第1項、指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準（平成18年厚生労働省令第35号）第50条第1項、第69条第1項、第81条第1項、第90条第1項、第118条の2第1項、第135条第1項、第155条第1項、第190条第1項、第206条第1項、第238条第1項、第269条第1項並びに第286条第1項、指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準（平成18年厚生労働省令第34号）第3条の19第1項（第18条において準用する場合を含む。）、第24条第

1 項（第 40 条の 16 及び第 61 条において準用する場合を含む。）、第 71 条第 1 項（第 182 条において準用する場合を含む。）、第 96 条第 1 項、第 117 条第 1 項、第 136 条第 1 項及び第 161 条第 1 項、指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準（平成 18 年厚生労働省令第 36 号）第 22 条第 1 項、第 52 条第 1 項並びに第 76 条第 1 項、指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準（平成 11 年厚生省令第 39 号）第 9 条第 1 項及び第 41 条第 1 項、介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準（平成 11 年厚生省令第 40 号）第 11 条第 1 項及び第 42 条第 1 項、健康保険法等の一部を改正する法律（平成 18 年法律第 83 号）附則第 130 条の 2 第 1 項の規定によりなおその効力を有するものとされた指定介護療養型医療施設の人員、設備及び運営に関する基準（平成 11 年厚生省令第 41 号）第 12 条第 1 項及び第 42 条第 1 項並びに介護保険法施行規則（平成 11 年厚生省令第 36 号）第 140 条の 63 の 6 の規定に基づき市町村が定める基準の規定により利用料の支払いを受けることを、2 に掲げる期間猶予することができるものとする。

また、介護保険法（平成 9 年法律第 123 号）第 115 条の 45 第 5 項及び第 115 条の 47 第 8 項に規定する利用料については、その具体的事項を市町村において要綱等により定めることとしているが、これらについても、市町村において要綱等を改正することで、1 に掲げる者について 2 に掲げる期間猶予することができるものとする。

なお、介護保険施設等における食費・居住費については、自己負担分の支払いを受ける必要がある。

1 対象者の要件

(1) 及び (2) のいずれにも該当する者であること。

(1) 平成 28 年熊本地震に係る災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）の適用市町村のうち、別紙に掲げる市町村の介護保険法（平成 9 年第 123 号）第 9 条の被保険者であること。

(2) 平成 28 年熊本地震により、次のいずれかの申し立てをした者であること。

- ① 住家の全半壊、全半焼又はこれに準ずる被災をした旨
- ② 主たる生計維持者が死亡し又は重篤な傷病を負った旨
- ③ 主たる生計維持者の行方が不明である旨
- ④ 主たる生計維持者が業務を廃止し、又は休止した旨
- ⑤ 主たる生計維持者が失職し、現在収入がない旨

2 取扱いの期間

平成 28 年 9 月末までの介護サービス分

なお、平成 28 年 10 月 1 日からの介護サービスについては、1 (1) の市町村から交付された利用料の免除証明書を提示した者のみ、窓口で利用料の支払いを免除すること。

3 介護サービス事業所等における確認及び介護報酬の請求等について

- (1) 上記 1 (2) の申し立てを行った者については、被保険者証等により、保険者が 1 (1) の市町村であることを確認するとともに、当該者の 1 (2) の申し立ての内容を利用者に関する書類に簡潔に記録しておくこと。

ただし、被保険者証等が提示できない場合には、氏名、住所、生年月日等を利用者に関する書類に記載しておくこと。

- (2) 本事務連絡に基づき猶与した場合は、利用料を含めて 10 割を審査支払機関等へ請求すること。

また、請求の具体的な手続きについては、「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震に関する介護報酬等の請求等の取扱いについて」(平成 28 年 5 月 2 日付け厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室ほか事務連絡)における 3 (2) を参照すること。

別紙

実施市町村

熊本県内の全市町村